

印西地区のごみの減量及びリサイクルに向けての
アンケート調査 結果報告書

2018年（平成30年）8月

目次

1. 調査の概要	1
2. 住民アンケート調査結果	2
(1) ごみの減量やリサイクルへの関心	2
(2) ごみの減量やリサイクルについて特に重要であると思うこと	3
(3) ごみの減量やリサイクルへの取組状況	4
(4) ごみの減量やリサイクルに消極的な理由	5
(5) 「食品ロス」の認知度	5
(6) 「食品ロス」の取組状況	6
(7) 組合や市町の取組の認知度	7
(8) ごみの減量やリサイクル推進に必要な取組	8
(9) ごみの有料化についての考え	9
(10) ごみの減量や再資源化への今後の取組姿勢	10
(11) 災害廃棄物に対する不安	11
(12) ごみに関するキーワードの認知度	12
(13) 性別	13
(14) 年齢	13
(15) 世帯人数	14
(16) 地区	14
(17) 職業	15
(18) 自由記述	16
3. 事業所アンケート調査結果	21
(1) ごみの減量やリサイクルへの関心	21
(2) ごみの減量やリサイクルへの取組状況	21
(3) ごみの減量やリサイクルの取組の意義についての考え	23
(4) ごみ処理手数料への値上げについての考え	24
(5) ごみの減量やリサイクルの取組に対する今後の考え	25
(6) ごみの減量やリサイクルに取り組むうえでの課題	26
(7) ごみの減量やリサイクルを推進するために自治体の取組が必要なもの	27
(8) 従業員数	28
(9) 業種	28
(10) 立地場所	29
(11) 自由記述	29

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、ごみ処理基本計画の改定にあたり、住民や事業所におけるごみ減量やリサイクルの関する取組などを把握し、今後の減量施策等を検討するうえでの参考資料とするために行いました。

(2) 調査対象

《住民アンケート》

印西地区（印西市、白井市、栄町）住民・・・ 1,900人

《事業所アンケート》

印西地区（印西市、白井市、栄町）事業所・・・ 100事業所

(3) 調査時期

2018年（平成30年）7月20日～2018年（平成30年）7月31日

(4) 回収状況

	発送数	有効回収数	有効回収率
住民アンケート	1,900件	553件	29.1%
事業所アンケート	100件	54件	54.0%

(5) 報告書の見方

- 本文中および図表中に示した集計結果は、その質問の回答者数を基数（N）として算出し、百分率（%）で示しています。
- 集計結果は小数点第2位で四捨五入しているため、回答比率の合計が100.0%とならない場合があります。また、割合を合計して示しているものについては、四捨五入の関係でそれぞれの選択肢の割合を単純に合計した数字と端数が異なる場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。
- 設問の回答選択肢が長い場合、短縮して記載している場合があります。

2. 住民アンケート調査結果

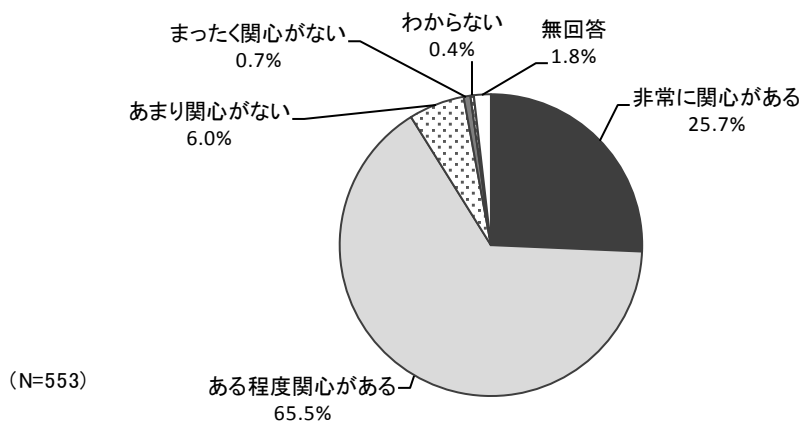
(1) ごみの減量やリサイクルへの関心

【質問内容】

問1 あなたは、ごみの減量やリサイクルに関心がありますか。(○は1つ)

「ごみの減量やリサイクル」について、「非常に関心がある」25.7%、「ある程度関心がある」65.5%で、合わせて91.1%が『関心がある』と回答しています。

このことから、多数の方がごみの減量等について関心があることが伺えます。



(2) ごみの減量やリサイクルについて特に重要であると思うこと

【質問内容】

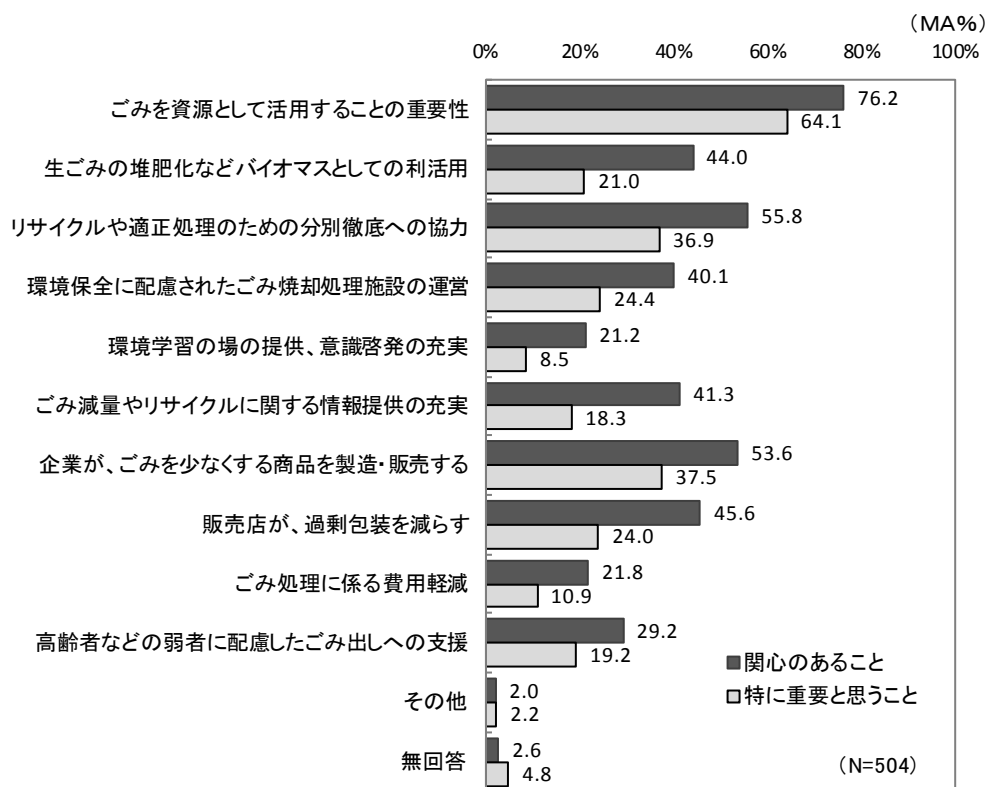
問2 問1で「1」または「2」とお答えした方にお聞きします。
 あなたの関心のあること、または特に重要であると思うことはどれですか。
 関心のあることを5つまで、特に重要であると思うことは3つまで○をつけてください。

※関心のあることを6つ以上、特に重要と思うことを4つ以上回答している場合も集計に含めています。

「ごみの減量やリサイクル」について「関心があること」は、「ごみを資源として活用することの重要性」が76.2%、「リサイクルや適正処理のための分別徹底への協力」が55.8%、「企業が、ごみを少なくする商品を製造・販売する」53.6%となっており半数以上の方が、関心があると回答しています。

また、特に重要と思うことについても同様の順に回答が多くなっています。

このことから、「ごみの資源化、リサイクル等やごみの排出抑制」についての取り組みは必要と考えている方が、多いことが伺えます。



(3) ごみの減量やリサイクルへの取組状況

【質問内容】

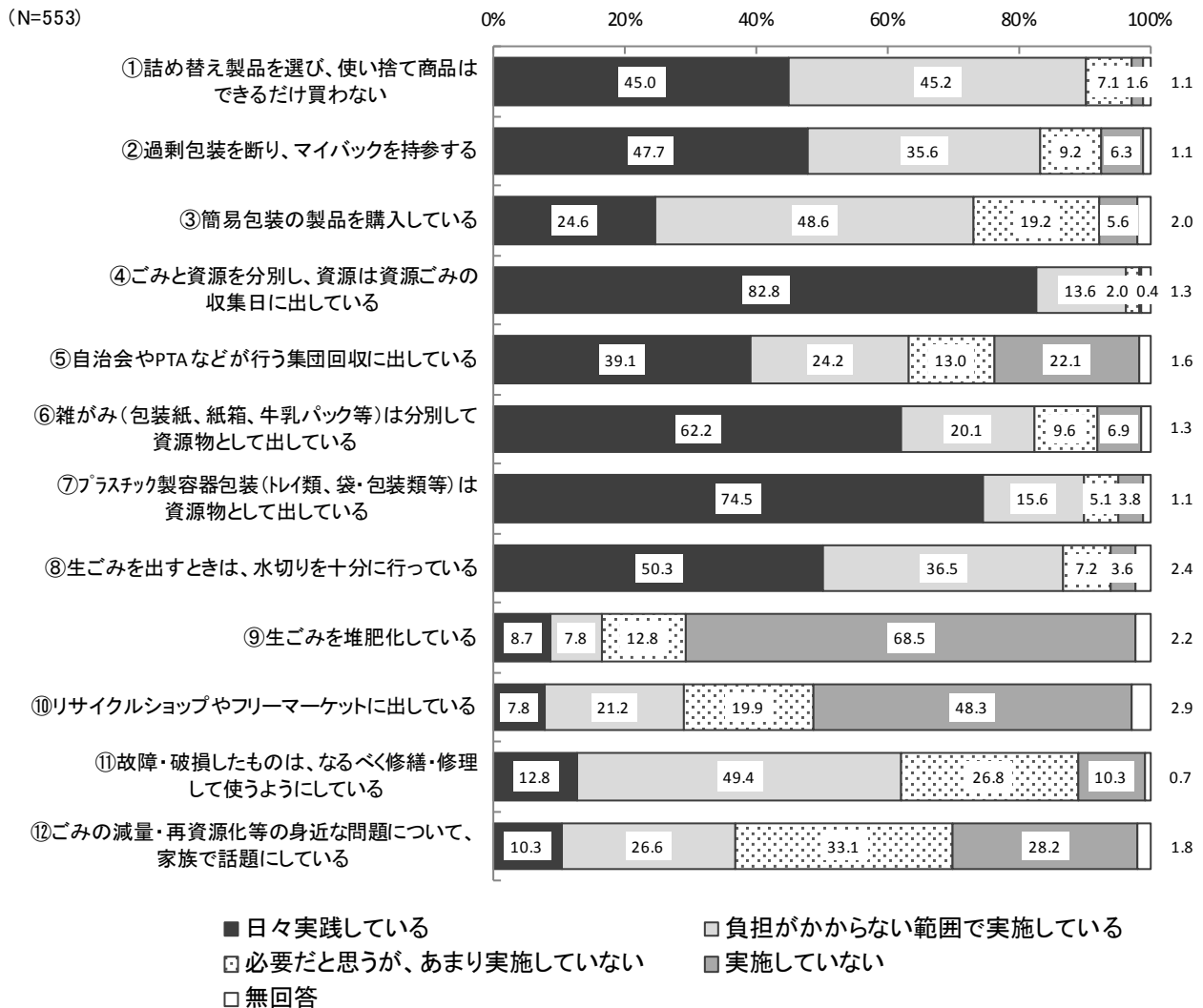
問3 あなたは、日頃からごみの減量やリサイクルを実践していますか。以下の項目毎に実践状況を選んでください。(それぞれ○は1つ)

「ごみの減量やリサイクル」について「日々実施している」ことは、「④ごみを資源と分別し、資源は資源ごみの収集日に出している」82.8%、「⑦プラスチック製容器包装は資源物として出している」74.5%、「⑥雑がみは分別して資源物として出している」62.2%の順で、取り組みが多い結果となっています。

「負担がかからない範囲で実施している」ことは、「⑪故障・破損したものは、なるべく修繕・修理して使うようにしている」49.4%、「③簡易包装の製品を購入している」48.6%、「①詰め替え製品を選び、使い捨て商品はできるだけ買わない」45.2%の順で、取り組みが多い結果となっています。

「実施していない」ことは、「⑨生ごみを堆肥化している」68.5%、「⑩リサイクルショップやフリーマーケットに出している」48.3%の順で、多い結果となっています。

このことから、分別等は積極的に行っているが、自ら取り組むリユースやリサイクルなどについては、あまり行っていないということが伺えます。



(4) ごみの減量やリサイクルに消極的な理由

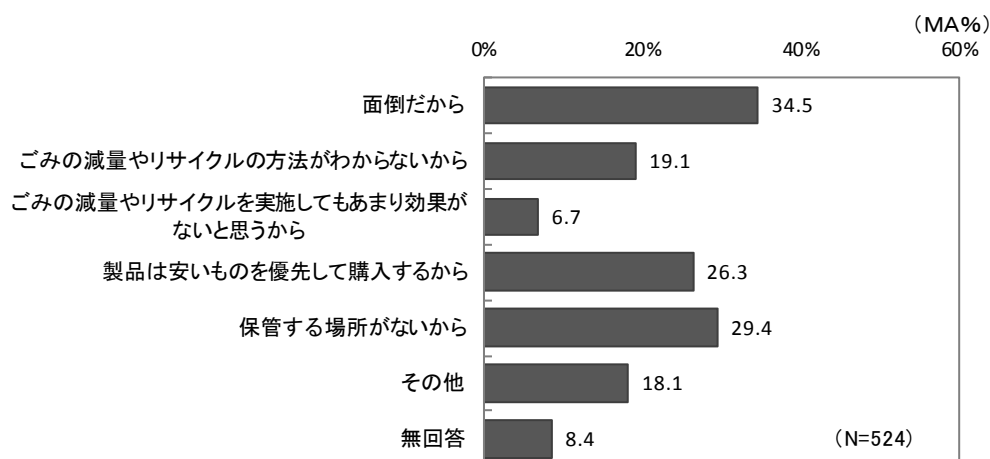
【質問内容】

問4 問3で、1つでも「3」または「4」とお答えになった方にお聞きします。
あなたがごみの減量やリサイクルに消極的な理由は何ですか。(○は3つまで)

※4つ以上回答している場合も集計に含めています。

「ごみの減量やリサイクル」について「消極的な理由」は、「面倒だから」34.5%、「保管する場所がないから」29.4%、「製品は安いものを優先して購入するから」26.3%の順で、多く回答されています。

このことから、ごみ減量の目的や資源化の必要性や行動に移すきっかけ等を、さらに啓発する必要があると考えられます。



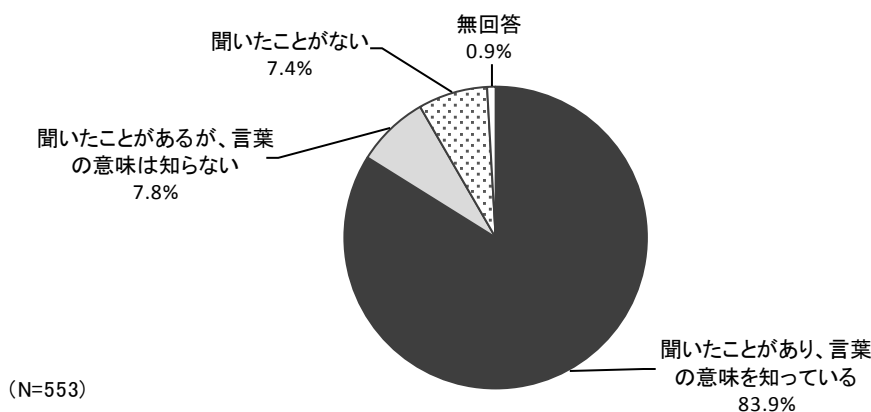
(5) 「食品ロス」の認知度

【質問内容】

問5 あなたは、「食品ロス」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

「食品ロス」について、「聞いたことがあります、言葉の意味を知っている」83.9%の方が知っていると回答しています。

このことから、食料品の廃棄について多くの方が関心を持っていることが伺えます。

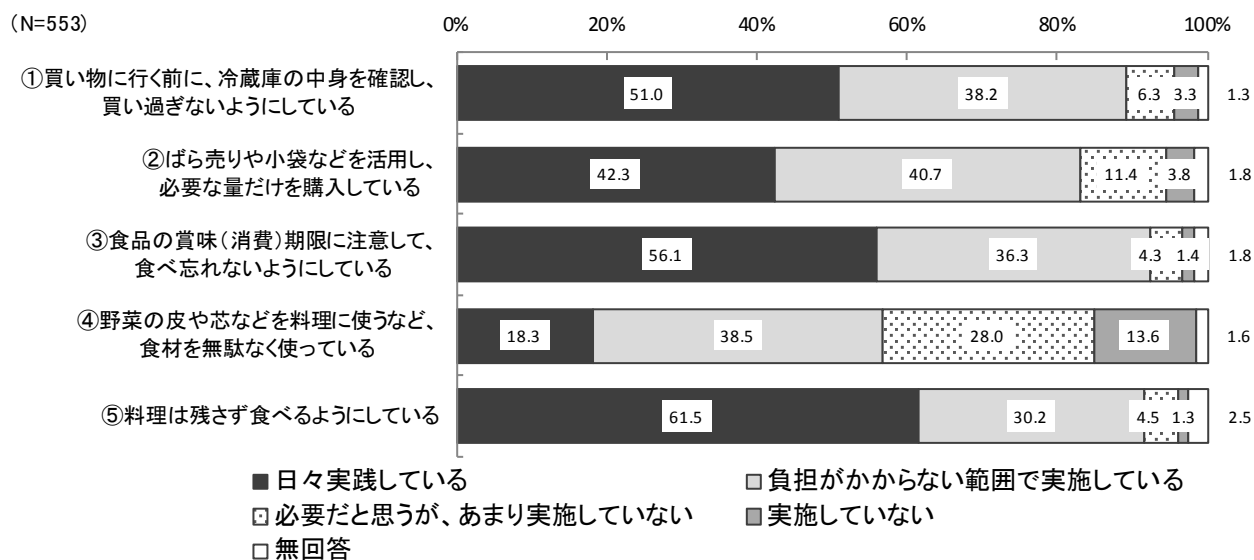


(6) 「食品ロス」の取組状況

【質問内容】

問6 あなたは、日頃から「食品ロス」の減量につながる取組を行っていますか。以下の項目毎に取組状況を選んでください。（それぞれ○は1つ）

「食品ロス」取り組みについて「日々実施している」ことは、「⑤料理は残さず食べるようにしている」61.5%、「③食品の賞味期限に注意して、食べ忘れないようにしている」56.1%、「①買い物に行く前に、冷蔵庫の中身を確認し、買い過ぎないようにしている」51.0%の順で、多い結果となっており、「負担がかからない程度で実施している」ことの回答と合わせると、80%以上の方が食品ロス減量について関心があり、取り組んでいることが伺えます。一方、「野菜の皮や芯などを料理に使うなど、食材を無駄なく使っている」では実施している人は少なくなっており、事例紹介等の啓発が必要であると考えられます。



(7) 組合や市町の取組の認知度

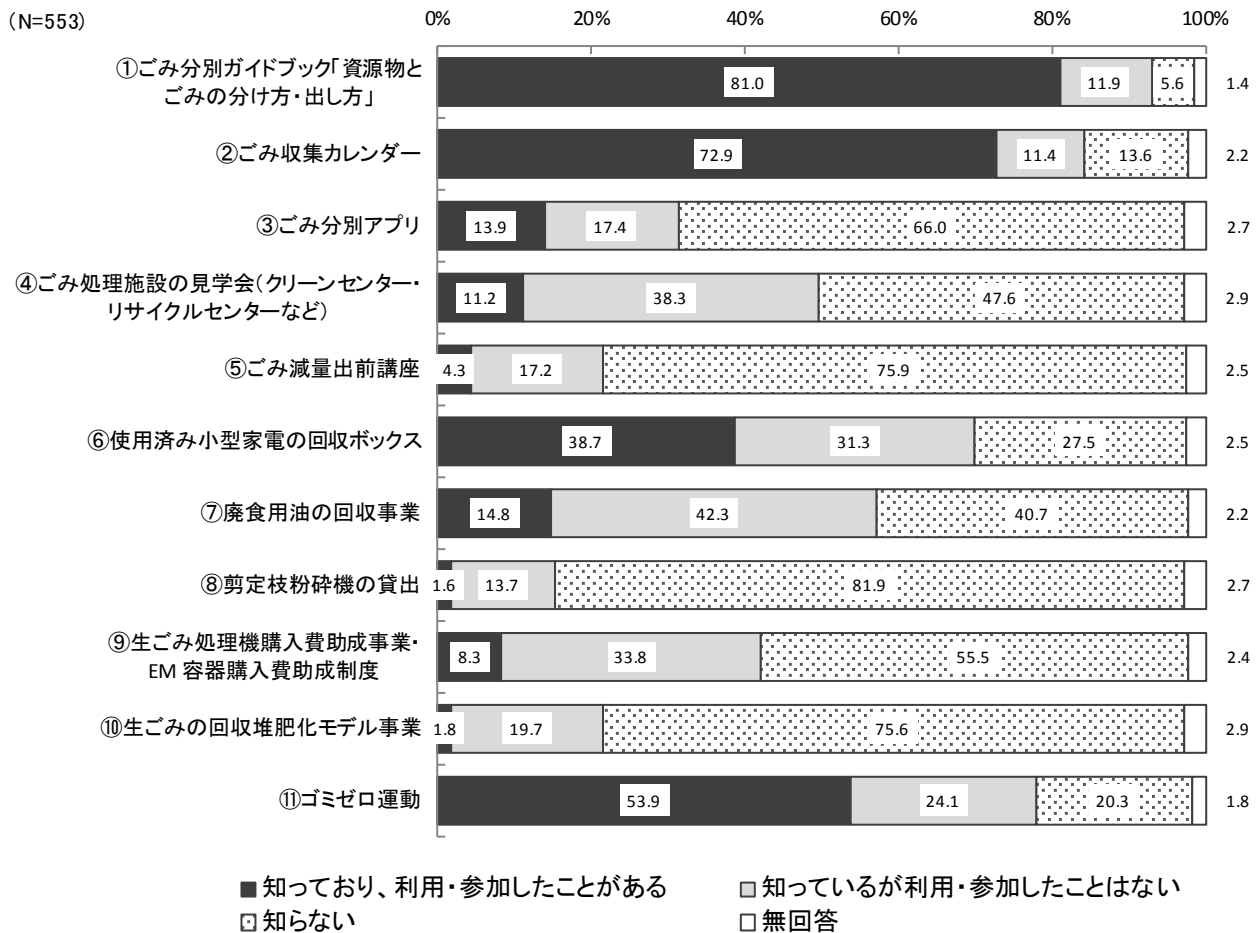
【質問内容】

問7 あなたは、組合や市町が行っている取組を知っていますか。また、利用・参加したことがありますか。以下の項目毎に選んでください。（それぞれ○は1つ）

「組合や市町の取り組み」について「知っており、利用・参加したことがある」ことは、「①ごみ分別ガイドブック「資源物とごみの分け方・出し方」」81.0%、「②ごみ収集カレンダー」72.9%の順で、多い結果となっています。

一方、「知らない」ことは、「⑧剪定枝粉碎機の貸出」81.9%、「⑤ごみ減量出前講座」75.9%、「⑩生ごみの回収堆肥化モデル事業」75.6%の順で、多い結果となっています。

このことから、広域的に行われているものについては、知っているが、剪定枝粉碎機貸出などの市町の取り組みについては、ほとんどの方が知らない結果であることから、さらなる啓発、周知の徹底が必要と考えられます。



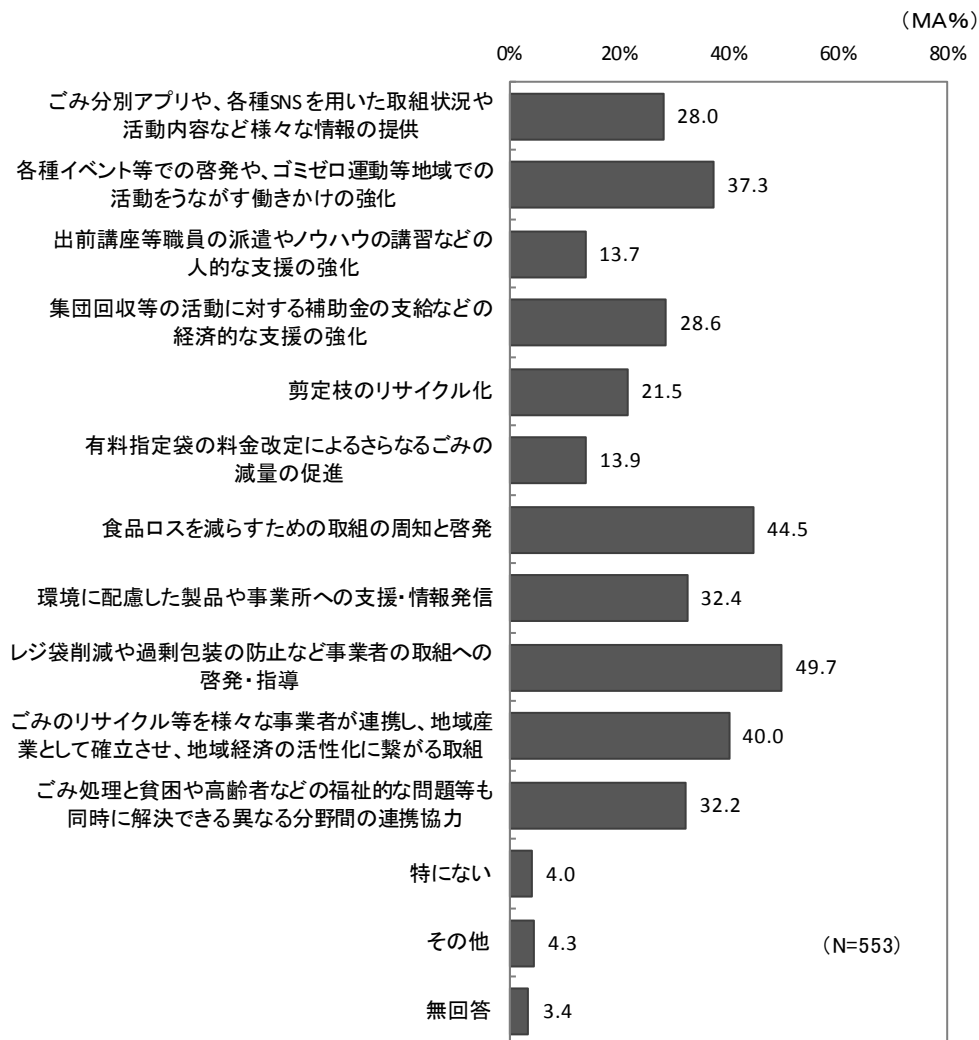
(8) ごみの減量やリサイクル推進に必要な取組

【質問内容】

問8 あなたは、ごみ減量・リサイクル活動を更に推進するために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「ごみ減量・リサイクル活動の推進」について「必要な取り組み」は、「レジ袋削減や過剰包装の防止など事業者の取り組みへの啓発・指導」49.7%、「食品ロスを減らすための取り組みの周知と啓発」44.5%、「ごみのリサイクル等を様々な事業者が連携し、地域産業として確立させ、地域経済の活性化に繋がる取り組み」が40.0%の順で、多い結果となっています。

このことから、更なるごみ減量に向けて、住民への啓発はもちろんのこと、事業者への働きかけも重要と考えられます。



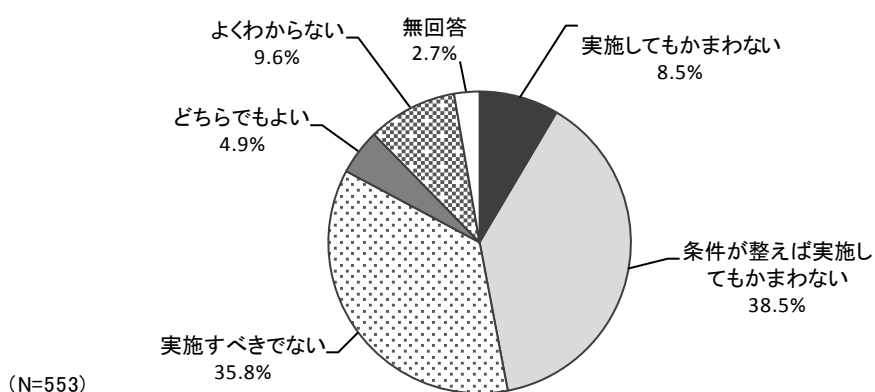
(9) ごみの有料化についての考え

【質問内容】

問9 更なるごみの減量とごみ処理費用の公平化を図るため、あなたはごみの有料化についてどう思いますか。(○は1つ)

「ごみの有料化」について、「条件が整えば実施してもかまわない」38.5%、「実施すべきでない」35.8%の順で、多い結果となっています。

また、「実施してもかまわない」と「条件が整えば実施してもかまわない」を合わせた、有料化に肯定的な回答は、47.0%となっており、更なるごみの減量に向け、有料化もやむを得ないと考えている方が多いことが伺えます。



(10) ごみの減量や再資源化への今後の取組姿勢

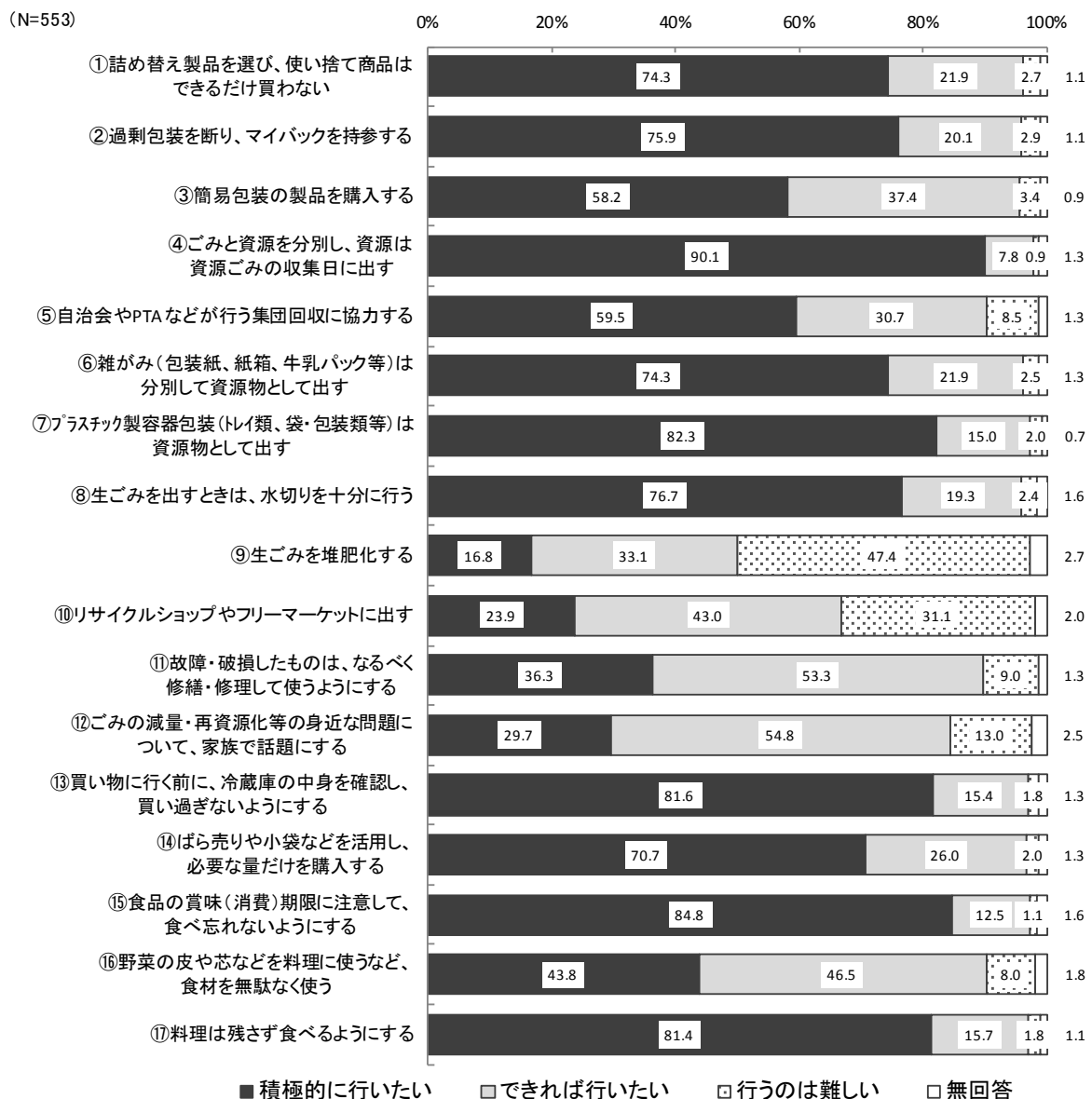
【質問内容】

問 10 ごみの減量・再資源化につながる今後のあなたの取組について、お聞きします。
以下の項目毎に今後の取組姿勢を選んでください。（それぞれ○は1つ）

「ごみの減量・再資源化の取り組み」について「積極的に行いたい」ことは、「④ごみと資源を分別し、資源は資源ごみの収集日に出す」90.1%、「⑮食品の賞味期限に注意して、食べ忘れないようにする」84.8%、「⑦プラスチック製容器包装は資源物として出す」82.3%の順で、多い結果となっています。

「行うのは難しい」ことは、「⑨生ごみを堆肥化する」47.4%、「⑩リサイクルショップやフリーマーケットに出す」31.1%の順で、多い結果となっています。

このことから、簡単にできることは今後も引き続いて実施するが、堆肥化やリユース、リペア（修理して使い続けること）等の自ら取り組むことなどについては、積極的に行いたいという意見は少なく、できれば行いたいという意見が多いことから、実施方法等についての啓発が必要であることが伺えます。



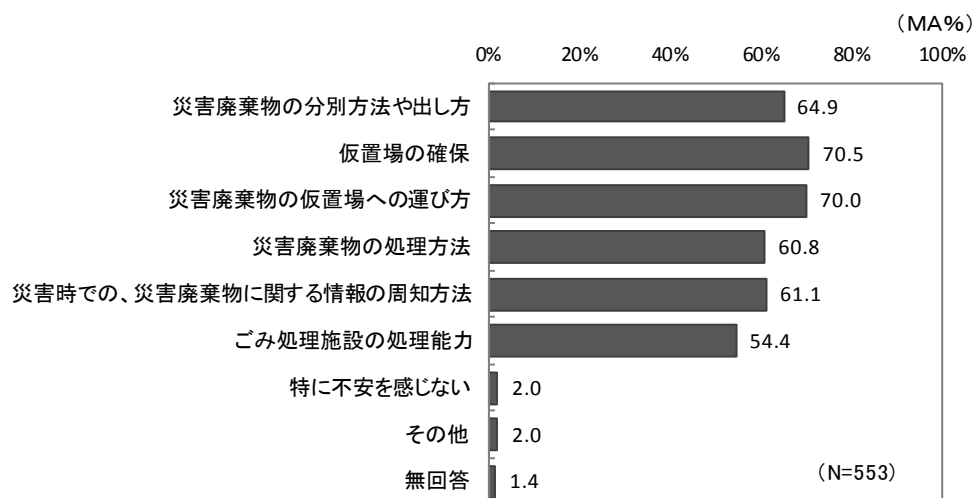
(11) 災害廃棄物に対する不安

【質問内容】

問 11 今後、東日本大震災等と同じような大規模災害で発生するごみ（災害廃棄物）について、不安に感じることは何ですか。（〇はいくつでも）

「災害廃棄物」について「仮置場の確保」70.5%、「災害廃棄物の仮置場への運び方」70.0%、「災害廃棄物の分別方法や出し方」64.9%、「災害時での、災害廃棄物に関する情報の周知方法」61.1%、「災害廃棄物の処理方法」60.8%の順で、多い結果となっています。

このことに加え、「特に不安を感じない」と答えた住民は2.0%と非常に少なくなっており、「災害廃棄物」について関心が高いことが伺えます。



(12) ごみに関するキーワードの認知度

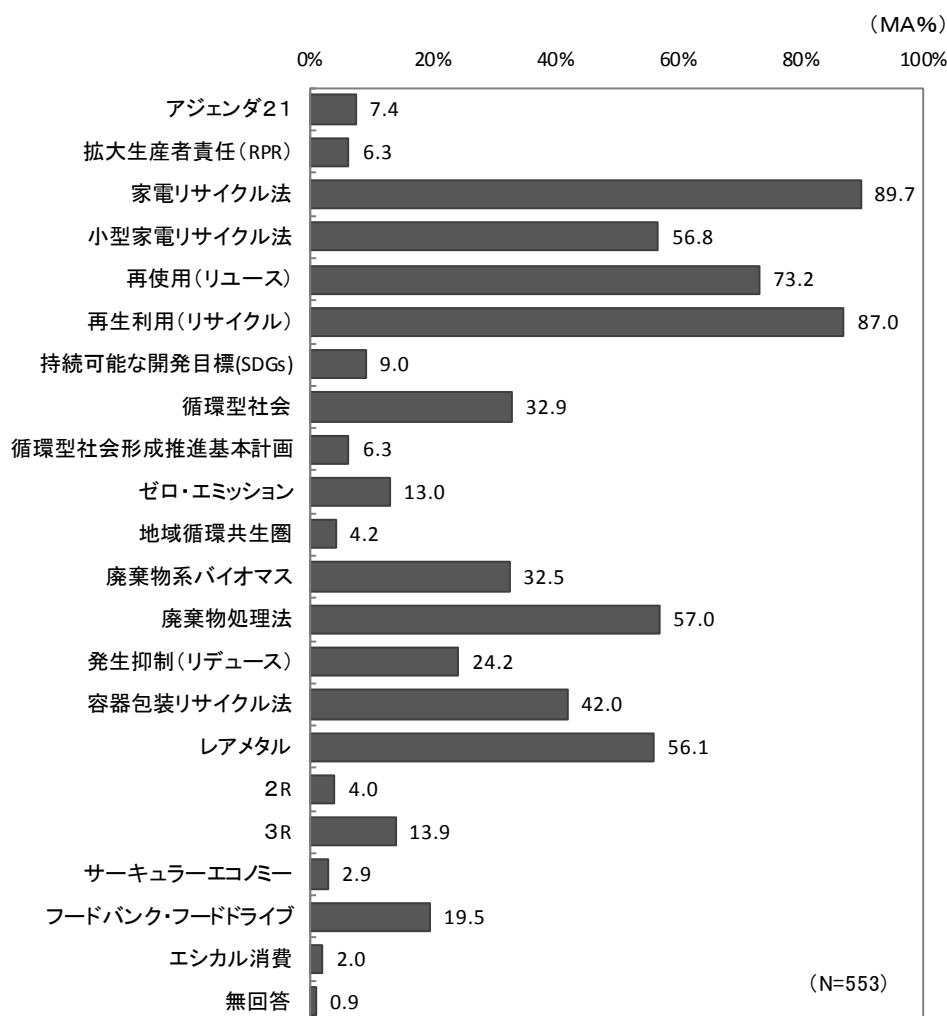
【質問内容】

問 12 ごみに関するキーワードを記しています。この中で、知っている言葉を選んでください（〇はいくつでも）

「ごみに関するキーワード」について「家電リサイクル法」89.7%、「再生利用（リサイクル）」87.0%、「再使用（リユース）」73.2%の順で、多い結果となっています。

しかし、「エシカル消費」、「サーキュラーエコノミー」、「2R」、「地球循環共生圏」については特に認知度が低く、5%を下回っています。

このことから、「循環型社会」を形成することを目指し推進していくなどの、世界の動向や国の取り組みを、周知していく必要があると考えられます。

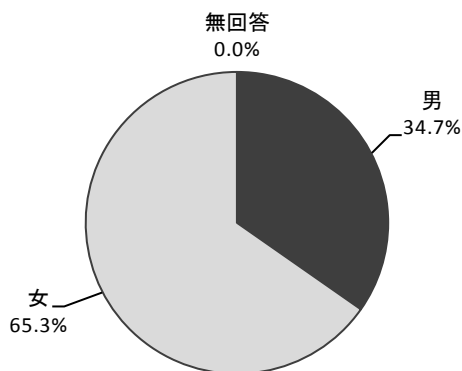


(13) 性別

【質問内容】

問 13 あなたの性別 (○は1つ)

「男」が 34.7%、「女」が 65.3%で、女性の回答者が多くなっています。



(N=553)

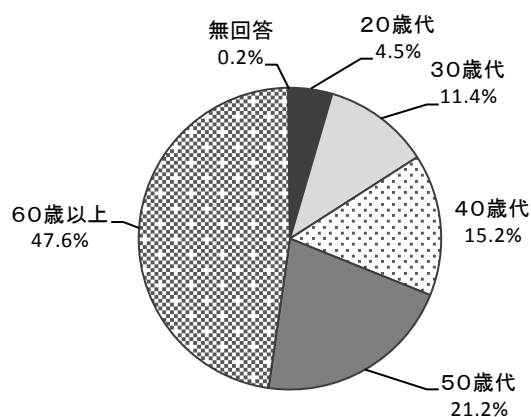
(14) 年齢

【質問内容】

問 14 あなたの年齢 (○は1つ)

「年齢」については、年代が高いほど割合が多く、「60歳以上」が 47.6%と約半数を占めており、若い世代(20代~30代)は低い回答率となっています。

このことから、若い世代はごみの減量・資源化などについて、あまり関心が無いように伺えます。



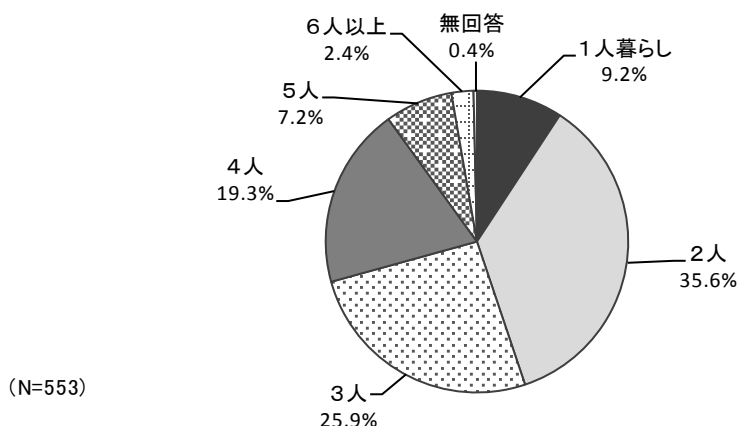
(N=553)

(15) 世帯人数

【質問内容】

問 15 世帯人数 (○は1つ)

「世帯人数」については、「2人」が35.6%、「3人」が25.9%、「4人」が19.3%などとなっており、80%以上が核家族と思われます。

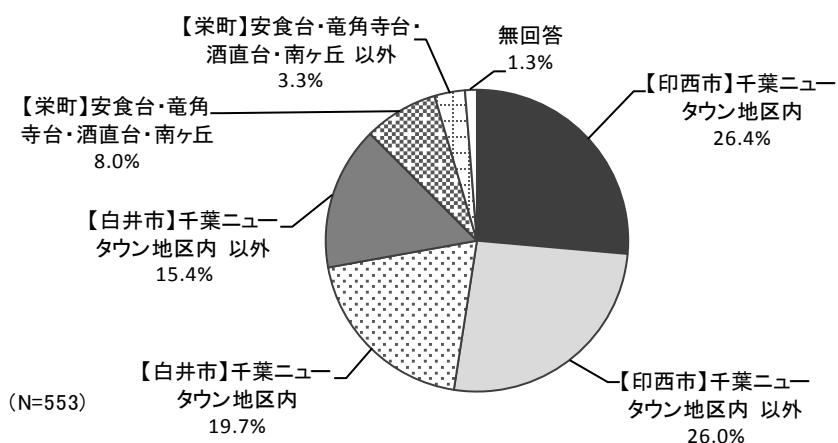


(16) 地区

【質問内容】

問 16 お住いの地区 (○は1つ)

「居住区域」については、印西市、白井市、栄町の新興住宅地区で54.1%となっており、印西市、白井市、栄町の既存地区で44.7%となっています。

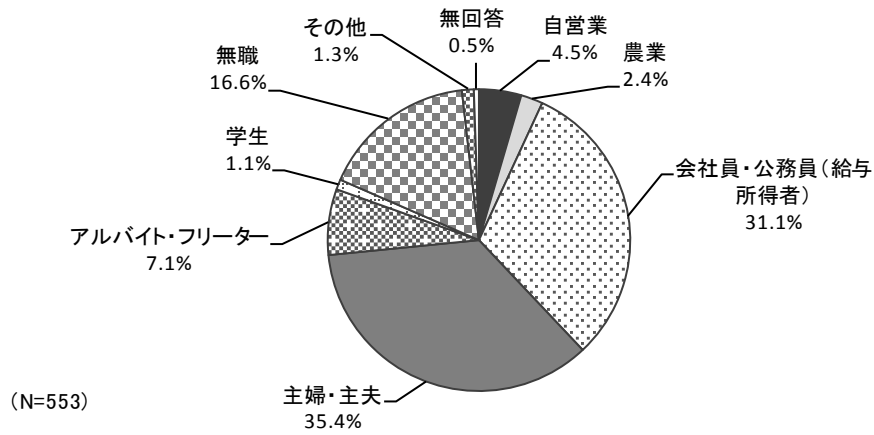


(17) 職業

【質問内容】

問 17 あなたの職業 (○は1つ)

「職業」について、「主婦・主夫」が 35.4%、「会社員・公務員」が 31.1%、「無職」が 16.6%などとなっています。



(18) 自由記述

【質問内容】

問 18 印西地区のごみ処理やリサイクル行政ご意見、ご提案等があれば、ご記入ください。

・ごみ減量・リサイクルに対する提案や決意・疑問等

公共機関、給食・幼・保など、生ゴミ処理機を設置せよ。
①生ゴミをそのまま出す②ディスポーザーで流して出す→どちらの環境負荷が小さいのですか？印西市はどちらを勧めますか？
いつもなにげなくゴミを出してしまいがちで、減量及びリサイクルに協力したいとおもいます。
ごみゼロの意味よく分からない（理想なのか）。スーパーなど多くがパック入りプラを使う。なぜレジ袋だけが問題なのか。こだわるのか。
ごみの減量化についてお知らせをする。粗大ごみの中から、リサイクルできるものはして、安く販売
ごみの収集実態、困ったごみの出し方などを広報などにのせて、市民の意識を上げる。
ごみの出し方について、各地区ごとに出前授業を行なってほしいと思います。
ごみは身近な問題なので、出し方の講習会を年一度集会所などで教えて欲しい。
ごみ出しルール違反者への指導の方法。（トラブルはイヤだ！！）
ペットボトル、アルミ缶等は回収に励励金を出す。
ペットボトルをリサイクルに出しても、少しのポイントにしかならないからやめてしまう。還元が少ないとやめてしまう人が多いのでは。
もえないゴミの処理（行先）が気になります。埋めたてか分別されるのか。資源紙類も、もっと周知できるように市から声かけしては？
もえるゴミが週2は少なすぎる。船橋のように分類少なく、せめて週3にしてほしい。年末年始も休みなく集荷してほしい。
リサイクルできる部分（金具など）を増すことが出来るといい。
リサイクル費用が高額になると不法投棄がふえるのではないかと？
安易にゴミ料等●取すると不法投棄につながるので慎重に。
以前居住していた、愛知県東海市のシステムが良かった。よければ参考にしてください。
一人ひとりがごみを減らす意識を高く持つことだと思います。
印西市のごみ処理は余裕があるとのこと安心してはいますが、市民のごみに対する自覚が大事。
印西地区内でも、粗大ゴミなど、有料の地区と無料の地区があるのはなぜですか？同じ処理施設利用だと思うのですが、施設に対しての負担割合が違うのでしょうか？
何事もそうですが、予算がつけば、お金をかければ解決することがかなりあるように思います。今、断捨離ブームなように皆捨てることに熱心ですが、そのうち新しいモノを買わなくなり、ゴミも減るように思います。経済は停滞してしまうけど。ゴミをリサイクルするというより、町が使わなくなったモノを町民から集め、貧困者に配るのは如何。
各家庭が生ごみを堆肥化すると生ごみは無くなると思います。
個人・個人が受け入れないとだめです。
個人が一步ふみとどまり品物買う前によく考えて購入すること。
子供が来るイベントで楽しくタメになって、参加型のリサイクルイベントがもっとあればいいですね。

資源ごみの細分化で、徹底的にリサイクルしてほしい
資源ごみの資源として活用している姿がみえない。譲歩として分かりやすくPRを。粗大ごみで使用できる物は再使用できるシステムを（有料でも可です）（使える家具でも車両荷台に放り投げて使用不可（キズ）となっている。）
資源の回収率を上げるための環境学習によって、ごみ分別を徹底し、リサイクルに対しての意識を変えていくことが重要だと思います。
資源活用できるものは、お金が戻ってくる仕組みにすると、住民は積極的に分別すると思います。
自治会及びPTA役員等のごみ処理施設への見学会を実施し、減量やリサイクルを体験して頂く。
取組状況等常に情報を流し、重要性を訴える。
集合住宅で生ごみ処理の容器が置けません。団地内に数カ所あれば使用すると思います。
小、中学生への教育の徹底、ゴミゼロ運動への参加呼びかけをお願いしたいです。
小さな子供たちにゴミの出し方など教えていけば、将来が良くなるのではと期待しています。子供のいう事なら、親も聞き耳をたててくれると思います。
生ごみは（つゆ、スープなど）ほとんど。生ごみ処理機購入しております。庭のポットと枝は庭剪定、業者が持っていきます。
生ごみや木の枝、野菜くずなどは、バイオマスとして利活用してほしいと思います。
粗大ゴミがセンターで廉価にリサイクルされています。本、衣類、教材、制服の様な一過性の物は各地区にステーションを設置（公民館等）、ボランティアで管理、無料で活用してもらう。ボランティアはポイント付与、ポイントで選べるサービスと交換、後に1コインサービス利用時の金券でも使用可とする。（互助、共助）
粗大ゴミ等は買替時に処分しているが、家庭内に不用品粗大ゴミの処分方法を簡素化し、選択肢を増やして欲しい。（リサイクルショップの宣伝・活用等）
堆肥の配布。（無料）地区でリサイクル出来たものは自治会への収入とかすると、おのおのが取り組みやすい。ごみ収集場所へのパウチでゴミ出し表を作成する等や、学校で幼稚園で出来ることの講義。
分別とリサイクル、リユース、リデュースを徹底すべき。この辺手をつけることを徹底すると生ゴミ2割は減るか。
暮らしの中に処理に困るゴミがたくさんある現状で、一般市民の意識を上げることは非常に困難。ゴミの少ない製品を作るよう、企業の努力が必要だと思います。ホチキス徹廃。

・分別についての意見

“ゴミの出し方・分け方”の外国人用（英語・中国語他）はありますか？
「50音別ごみと資源物の分け方ガイド」が理由が分からないので、いつも感念的でしかなく、応用がきかない。
ごみの分別の場所を設置してそれを増やしていけば、リサイクルや分別を習慣づけられると思います！・分別やリサイクルについての細かい説明があるといいです！
義務心（ゴミの有料化）からではなく、正義感（地球の為）で分別が出来たら良いですね。がんばります。
アパートの住人に多々見受けられるのですが、分別違いのゴミをよく出し、その週のゴミ担当者に迷惑をかけているので、他の市町村で行っている、名前をフルネームにて明記し無い場合は置いて行く手段も必要かも。
あまり細く分別のルールをつくと、逆にめんどろとなり、分別しなくなると思います。アメリカのように、センター内で分別する仕事の人を作って欲しいです。又、年よりは重いゴミを持って捨てに行くのは本当にたいへんそうです。
このアンケート自体が事後的なものでしかないと思いました。ゴミ処理の現場、作業者が困っている事をゴミを出す住民に教えてくれれば協力できるでしょう。住民としては、ゴミ分別のフローチャートが欲しい。50音別、別け方ガイドももっと充実させて下さい。今の世の中、ゴミを減らすためには家庭に入ってくる“物”を減らす事が重要です。5S活動や、「捨てる！」技術（本）の考え方が必要です。家庭にとっても得する考え方です。産業にとっては損かもしれませんが。

コンビニにあるごみ箱は、きちんと分別されているのか。（ペットボトルのビニルはがし）等、国外にごみを売っていると聞く。心配である。
どこに捨てて良いのか判らない時があります。印西市役所にコンテナを（判らないものは）置いて処理したらと思います。
プラスチック製容器等のリサイクルについてきれいな物・においのない物等しかリサイクルにまわせないことをもっと知らせて欲しい。
もっと分かりやすい、パンフレットなどが欲しい。
リサイクルゴミ（資源ゴミ）回収日なのに、リサイクルできる紙類が他世帯では出していない。リサイクルできる紙はいつ出しているのか不思議です。
簡単でわかりやすく！めんどくさいのはNG！
高齢者や特別な器具がないと分別できない時、どうすればいいか知りたい。
指定されたごみ収集日に指定外のごみを出す人がいる。
団地の清掃している者です。住民は一部の人ですけど、8ヶ所あるゴミ置場にビン・カン・ペットボトル・おむつ、みないっしょです。無理です。分別の徹底は外国人か、日本人も、車から可焼ゴミ、ポイステ、からずに……
燃えるごみとプラスチックごみの処理の仕方がわからない。わかれば、分別の意味がわかり、動機づけになると思う。
分別の方法はしばらくすてていない物など忘れやすいので、定期的にパンフレットが欲しいです。
訪問の介護ヘルパーをしています。高齢のご家庭では、分別やゴミ出し等、困難な方が多いです。

・ごみの回収・搬入方法についての意見

クリーンセンターに直接持ち込み、重量で料金を支払うようにできれば良いと思う。
ごみおぎば回収ではなく、回収数が減っても各個別家庭回収にきりかえてほしい。わからないだろうと、まもらない人が多いから。
ゴミの回収が7：00～8：30だと出勤が早くゴミが出せない。早朝でもゴミ出しできるようにしてほしいです。
栄町では年2回剪定枝等のコンテナを用意してくれますが、通年用意してほしい。
可燃ゴミの日を週3にしていただけるとありがたいです。ハガキの回答、やりにくかったです。
家電等のゴミ回収料金は製産者に課すべき。消費者では投棄が発生する。
各域ゴミステーションの管理・修繕がよくできていないところがある。若い人達の生活者の中には、環境へのモラルがよく教育されていない行動が見受けられることあり。
規則を守らない人が多い所に住んでいるのでとてもこまります。なんとかして下さい！
建設費の負担額が違うので、なのだろうが、粗大ごみの収集金額が印西は0円に対し白井市は料金が発生することについて不満
紙ゴミは雨の日は出せない。せっかく貯めても置き場所で困り、ゴミに出す、行政機関に集収場所あってもいいのでは??
粗大ゴミを無料で回収してくれるのはとてもありがたいです。
粗大ごみ有料化により、自宅近くに不法投棄あり。他市町村への持ち込み有り。粗大ごみ収集の充実を希望。
足の不自由な一人暮らしの方などは玄関までゴミ回収に行ってほしい。
団地内のゴミ集積所に収集できないゴミが捨てられている。（団地以外の人かも）これらの対応が必要である。
燃やすごみの収集方法を変える。（家庭で生ごみを減らす時は土に戻す、市の収集も生ごみはもやさないで土に戻せる様な処理場、設備を設ける紙ごみなどは別の日に収集する。（ビニール袋に入れた野菜はくさるのがはやいです。）何がお役にたてたら幸いです。

白井市栄町のごみ引き受るな。
発砲スチール箱の回収場所の放置（黄色の袋に入らない）

・ごみ有料化についての意見

ごみの有料化にすると不法投棄がふえることが心配です。
ごみの有料化により、捨てられる（道路などに）ごみが増えるのではと心配です。
ごみの量に対しての課金が行きすぎると緑の少い町になったり、袋を使わないで、生ごみ等出せる地域がまだあったりすると、少し考えてしまう。
ごみを有料化するとしても、低価格にした方がよいと思う。
ごみ処理の有料化には賛成だが、一律同額には反対。
印西市は粗大ごみの収集が無料なのありがたい。有料化されると不法投棄が増えそうでイヤだ！予算面で大変だと思いますが、このまま無料を継続していただきたい。
経済面での負担増は厳しい。
現在、無料化なので有料化にしていくべきだと思う
⑨について、ゴミ処理費用の公平化とは？？多く出す事業所は有料、一般家庭は無料。
白井市と印西市で粗大ゴミの処理が有料・無料と異なるのは納得できない。
白井市民も粗大ごみはクリーンセンターに持ち込めば無料で処理してほしい
白井市民も粗大ゴミ無料にしてほしい。
複雑化や有料化を行うと、コンビニ等公共のゴミ箱にすてる人が増えると思います。→プラもゴミに捨てられて、よけいにゴミが増える可能性が（大）！！
有料化はさけない
有料化はモラルの低い人による不法投棄につながるリスクがごみ減量効率より大きい。

・ごみ袋についての意見

ごみ袋も時々市から下さいな！！
ごみ袋をもう少し安く。
ゴミ袋を何でも使用可能にしてほしい。
ごみ袋自体環境に悪いのではないかと常々心配している
ゴミ袋統一のコスト削減。全市町の料金統一、個別収集の分別周知。周知の簡素化、問題の個別対応、行政の統一化。
二人暮らしです。プラごみ袋が少し大きすぎ。一週間で1枚はチョット大きいです。少し小さく、枚数を多くしては！

・ごみ処理施設についての意見

船橋・北部清掃工場の売電58億と聞く（H29年度）。発電効率を考えよ。
クリーンセンターのように熱を利用し、プールなどをつくってほしい！健康増進にもなり高齢者の憩いの場となる。スポーツとしてごみも活用できるよう、よろしく願います
ごみ処理の熱をいかして市民のいこいの場を使いやすくつくってほしい。
ごみ処理場の新設には、困難が伴うと思います。住民自身の問題ながら、当事者となるとわがままがでますね。
印西クリーンセンターを何故移設したのか。組合事業とはいえ、財政を考えるべき！

・災害廃棄物についての意見

災害時の廃棄物の出し方に関して、あらかじめ住民に周知していただきたい。高齢者も増加しているため、早め早めの対処が望ましい。
災害廃棄物をゴミというのは疑問
不安に思うことを質問するのではなく、災害の前にこの問題をどう解決するのかを、決定していただきたい。今の日本では明日この地域で災害が起きてもおかしくはないので。

・ごみ行政に対する激励・感謝・要望

SDGSを目標にした行政を！
いつもありがとうございます。
いつもありがとうございます。
いつもご苦労様です。ゴミ処理には、定まった時間にきちんと処理をありがとうございます。
ごみの回収・猛暑の中、いつもありがとうございます。
ご苦労様です。いつも感謝して生活しております。
最近自宅前に風呂マットが捨ててありました。町が処分してくれなければ自分が処理しなければならないと今は思っていますが、こんな事があるなんてとても残念です！※いつも大変お世話になっています。ありがとうございます。
低コストで積極的に行政を行って下さい。
普段の情報が少なすぎる。

・地域の環境美化について

・市内全域の道端雑草処理をお願いしたい。市民も参加してでも可。・ポイ捨のタバコをなくす。
ごみを平気で公園や道端に捨てている人がいるのが非常に残念です。何とかしたいものです。
ごみ有料化で不法投棄が増えないために空地等の雑草整備にお金をかける。雑草等でごみがかくれるのを防ぐ。
印西市はポイ捨てのゴミが多い。マナーが悪いと思う。
地区の公園にごみが多い。特にタバコ等、子どもたちにごみを持ち帰るよう啓発しないとごみは将来もなくなる

・その他・アンケート調査等について

アンケートの結果を広報等で知らせてほしい。
アンケート質問多すぎ。
このようなアンケートはウェブサイトで行った方がペーパーレスで回答しやすい。
何が問題なのかがよくわからない。
個人で燃やしているプラスチックのゴミ。ペット屋敷のゴミの調査を願います。
高令の為、自分が出来る事は実施いたします。

3. 事業所アンケート調査結果

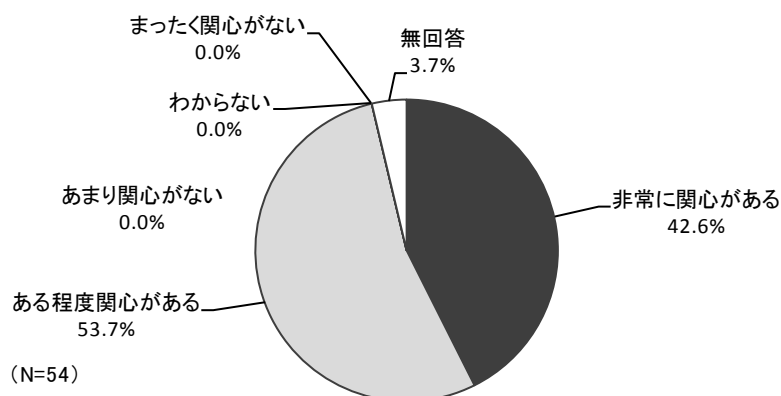
(1) ごみの減量やリサイクルへの関心

【質問内容】

問1 貴事業所では、ごみの減量やリサイクルに関心がありますか。(○は1つ)

「ごみの減量やリサイクル」について、「非常に関心がある」42.6%、「ある程度関心がある」53.7%、合わせて96.3%が『関心がある』と回答しています。

このことから、多数の事業所がごみの減量等について関心があることが伺えます。



(2) ごみの減量やリサイクルへの取組状況

【質問内容】

問2 貴事業所では、日頃から、ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。以下の項目毎に実施状況を選んでください。(それぞれ○は1つ)

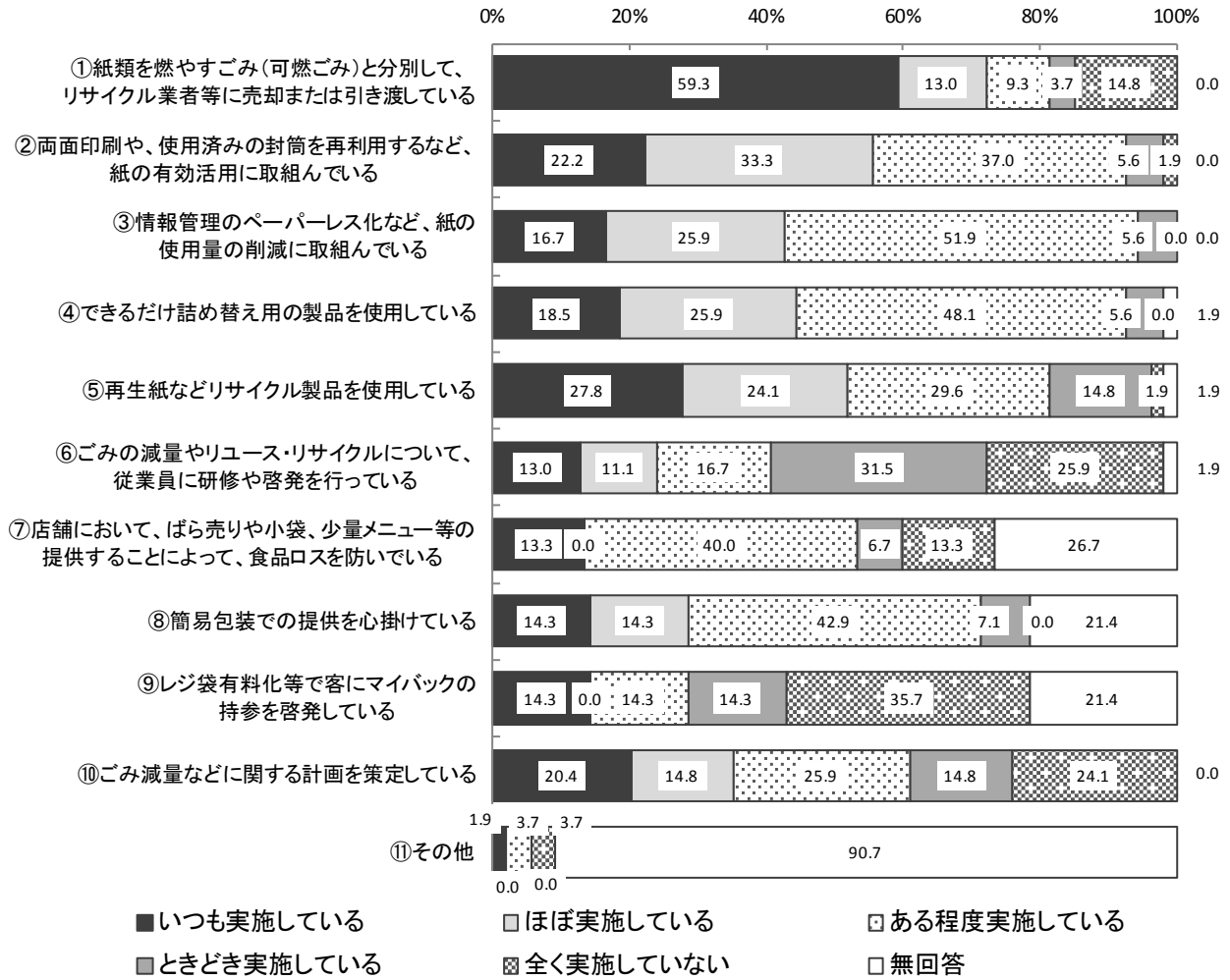
「ごみの減量やリサイクルに取り組み」について「いつも実施している」ことは、「①紙類を燃やすごみと分別して、リサイクル業者等に売却または引き渡している」59.3%、「⑤再生紙などリサイクル製品を使用している」27.8%、「②両面印刷や、使用済みの封筒を再利用するなど、紙の有効活用に取り組んでいる」22.2%の順で、多い結果となっています。

また、「ほぼ実施している」について、「②両面印刷や、使用済みの封筒を再利用するなど、紙の有効活用に取り組んでいる」33.3%、「③ペーパーレス化など使用量の削減に取り組んでいる」25.9%、「④詰め替え用の製品を使用」25.9%の順で、多い結果となっています。

しかし、「全く実施していない」ことは、「⑨レジ袋の有料化等で客にマイバック持参の啓発」が35.7%、「⑥従業員に対して、ごみの減量、リユース、リサイクルの研修啓発等」25.9%、「⑩ごみ減量などに関する計画策定」24.1%の順で、多い結果となっています。

このことから、事業所等の従業員にごみ減量化、資源化に取り組む目的等ごみについて考える機会の創出を、啓発していくことが必要があると考えられます。

(N=54) ※⑦は「卸売・小売業」と「宿泊・飲食サービス業」(N=15)のみ対象 ※⑧⑨は「卸売・小売業」(N=14)のみ対象



(3) ごみの減量やリサイクルの取組の意義についての考え

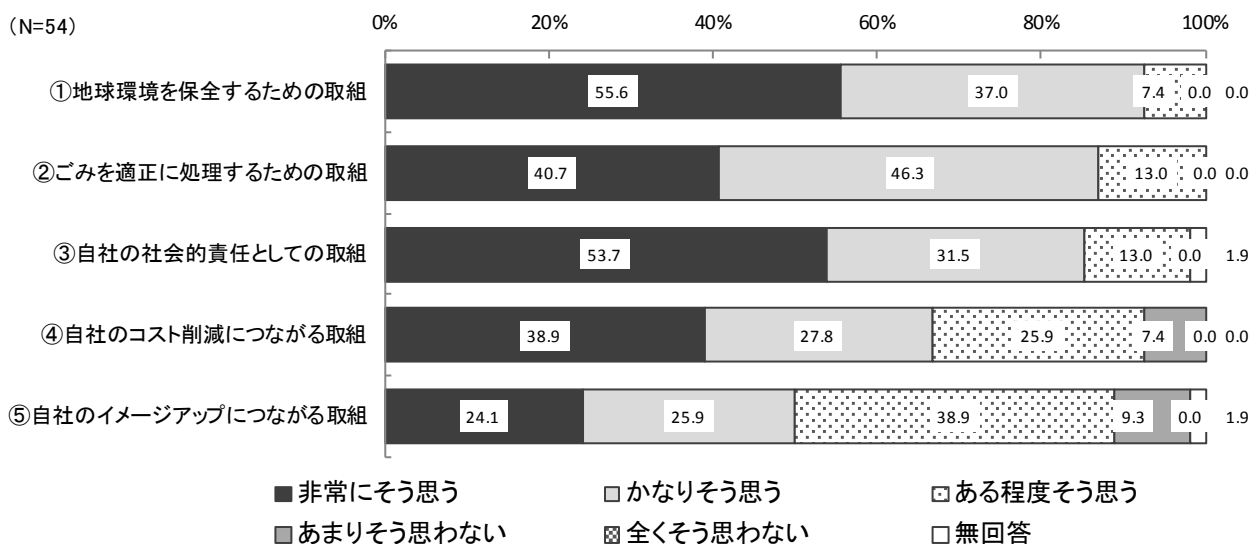
【質問内容】

問3 貴事業所では、ごみの減量やリサイクルの取組の意義について、どのように考えていますか。以下の項目毎に考えを選んでください。（それぞれ○は1つ）

「ごみの減量やリサイクルの取り組みの意義」について「非常にそう思う」ことは、「①地球環境を保全するための取組」55.6%、「③自社の社会的責任としての取組」53.7%、「②ごみを適正に処理するための取組」40.7%の順で、多い結果となっています。

また、「かなりそう思う」ことは、「②ごみを適正に処理するための取組」46.3%、「①地球環境を保全するための取組」37.0%、「③自社の社会的責任としての取組」31.5%の順で、多い結果となっています。

このことから、印西地区内の事業所は、ごみの適正処理に取り組む必要があることは、ある程度理解していると考えられます。よって、行政が可能な限り手順等を啓発することにより、ごみの減量化や資源化は推進されていくことが伺えます。



(4) ごみ処理手数料への値上げについての考え

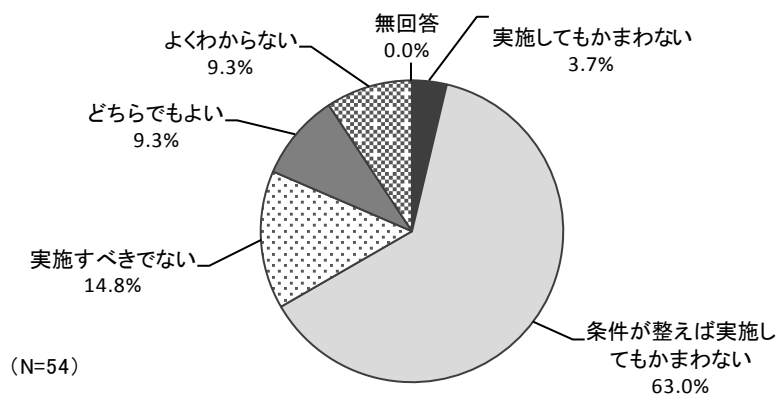
【質問内容】

問4 更なるごみの減量とごみ処理費用の公平化を図るため、印西クリーンセンターでのごみ処理手数料の値上げについてどう思いますか。(○は1つ)

「ごみ処理手数料の値上げ」について「条件が整えば実施してもかまわない」63.0%、「実施すべきでない」14.8%の順で、多い結果となっています。

「実施してもかまわない」と「条件が整えば実施してもかまわない」を合わせた、値上げに肯定的な回答は、66.7%となっています。

このことから、条件等の整理は必要であるが、値上げについても今後は検討していく必要があることが伺えます。



(5) ごみの減量やリサイクルの取組に対する今後の考え

【質問内容】

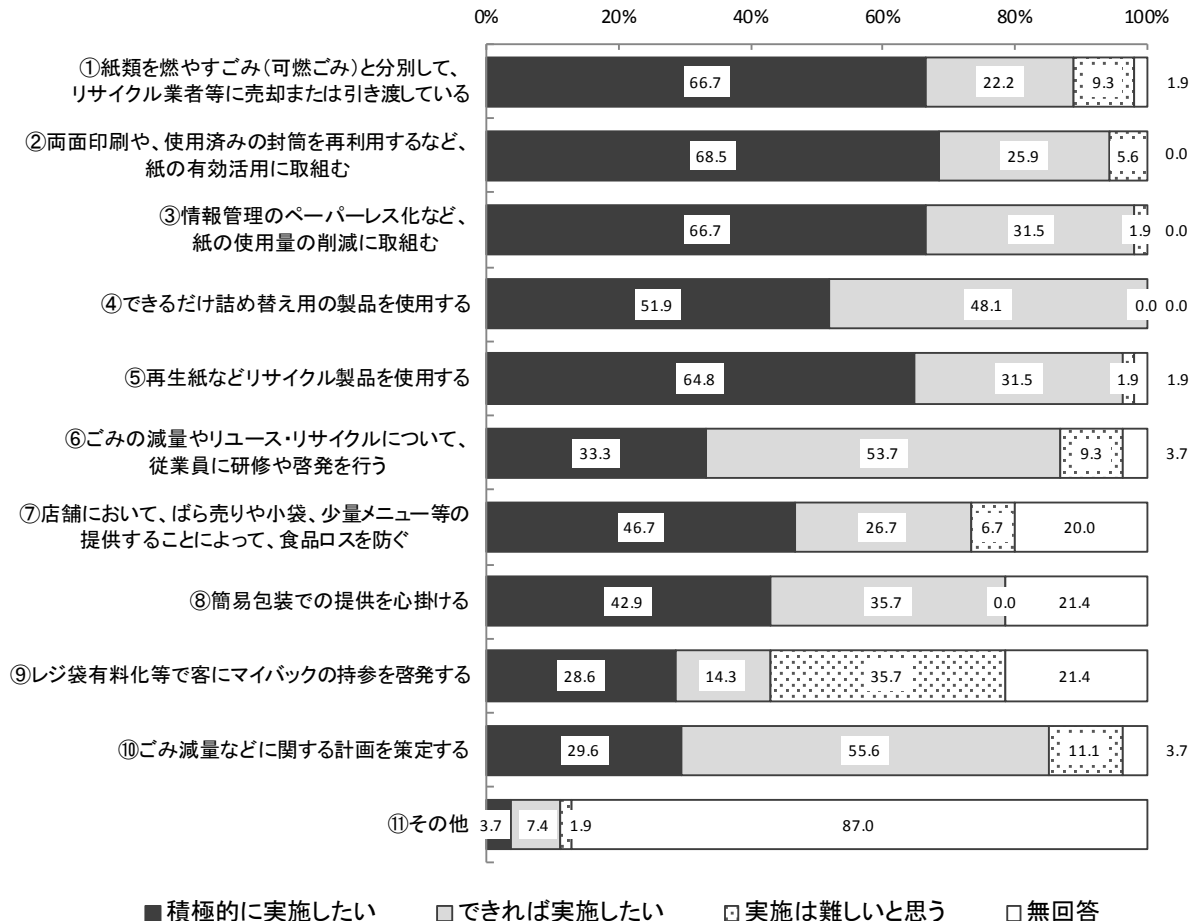
問5 ごみの減量やリサイクルにつながる今後の取組に対する貴事業所の考えについてお答えください。以下の項目毎に選んでください。（それぞれ○は1つ）

「事業所のごみ減量・リサイクルに対する取組み」について「積極的に実施したい」ことは、「②両面印刷や、使用済みの封筒を再利用するなど、紙の有効活用に取り組む」68.5%、「①紙類を燃やすごみと分別して、リサイクル業者等に売却または引き渡している」66.7%、「③ペーパーレス化など、紙の使用量の削減に取り組む」66.7%の順で、多い結果となっています。

また、「できれば実施したい」ことは、「⑩ごみ減量などに関する計画を策定する」55.6%、「⑥ごみの減量やリユース・リサイクルについて、従業員に研修や啓発を行う」53.7%、「④できるだけ詰め替え用の製品を使用する」48.1%の順で、多い結果となっており、今後のごみ減量化対策に積極的な取組みが伺えます。

しかし、「⑨レジ袋有料化等で客にマイバックの持参を啓発する」は、現在及び今後の取組み状況とも「実施していない・実施は難しいと思う」など難しい状況であることが伺えます。また、「⑥ごみの減量やリユース・リサイクルについて、従業員に研修や啓発を行う」と「⑩ごみ減量などに関する計画を策定する」に関しては、現在実施していない割合が高いにも関わらず、今後は実施したいと考えている事業所が比較的多いことから、重点的な啓発が必要であることが伺えます。

(N=54) ※⑦は「卸売・小売業」と「宿泊・飲食サービス業」(N=15)のみ対象 ※⑧⑨は「卸売・小売業」(N=14)のみ対象



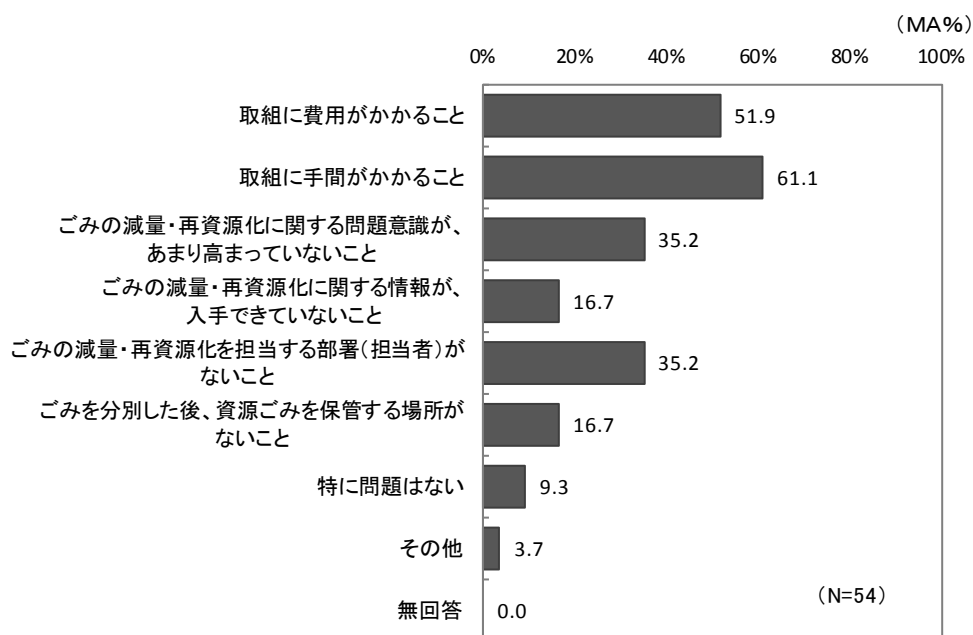
(6) ごみの減量やリサイクルに取り組むうえでの課題

【質問内容】

問6 問5でお答えいただいた取組などごみの減量やリサイクルに取り組む上で、どのような課題があるとお考えですか。(〇はいくつでも)

「課題」について「取組みに手間がかかること」が61.1%、「取組みに費用がかかること」が51.9%、「ごみ減量・資源化に関する問題意識があまりない」が35.2%、「ごみ減量・資源化を担当する部署がない」が35.2%の順で、多い結果となっています。

このことから、ごみ減量やリサイクルの取り組む上での課題等を整理し、新たな手法など事業系ごみの減量に向けて考える必要があると思われます。



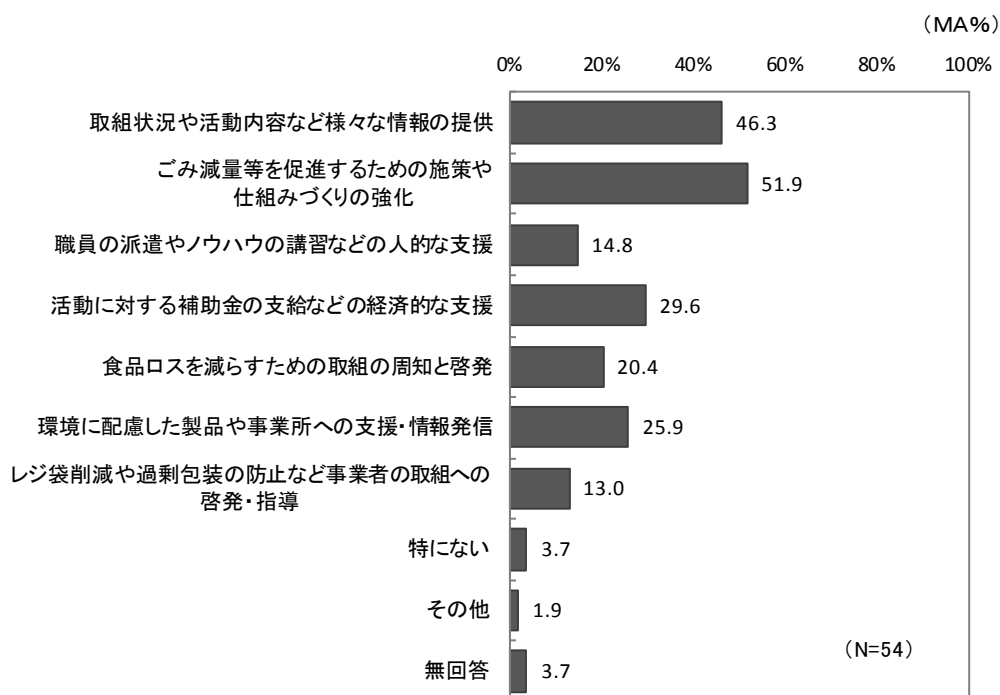
(7) ごみの減量やリサイクルを推進するために自治体の取組が必要なもの

【質問内容】

問7 ごみ減量・リサイクルを更に推進するために、自治体として、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「自治体としての取り組み」について「ごみの減量等を促進するための施策や仕組みづくりの強化」が51.9%、「取組状況や活動内容など様々な情報の提供」が46.3%、「補助金などの経済的支援」が29.6%の順で、多い結果となっています。

このことから、事業者に対しての情報の提供や支援などの体制を作り連携して、取り組むことが必要と考えられます。

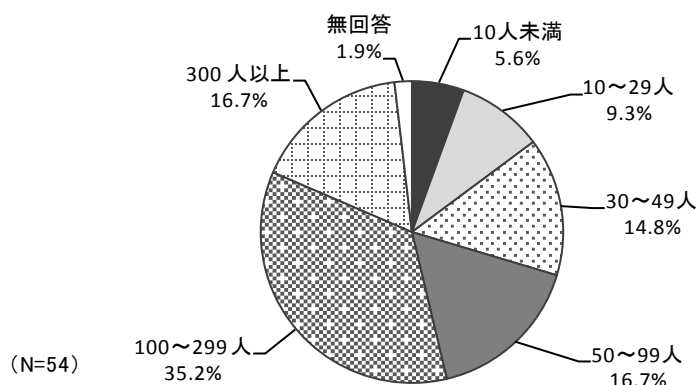


(8) 従業員数

【質問内容】

問8 貴事業所の従業員数をお答えください。(○は1つ)

「従業員数」について、「100～299人」が35.2%、「300人以上」が16.7%、「50～99人」16.7%、「50未満」の事業所が29.7%となっています。「100人未満の事業所」は全体の46.4%になります。

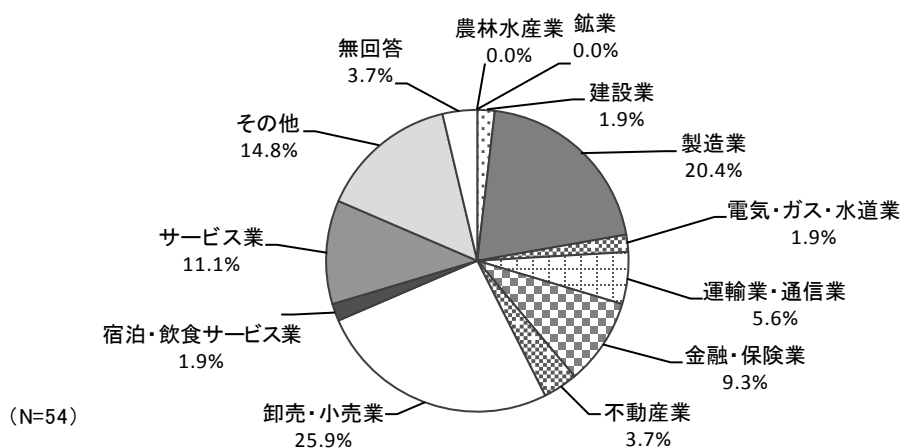


(9) 業種

【質問内容】

問9 貴事業所の業種をお答えください。(○は1つ)

「業種」について「卸売・小売業」が25.9%と最も多く、次いで「製造業」が20.4%、「その他」が14.8%などとなっています。

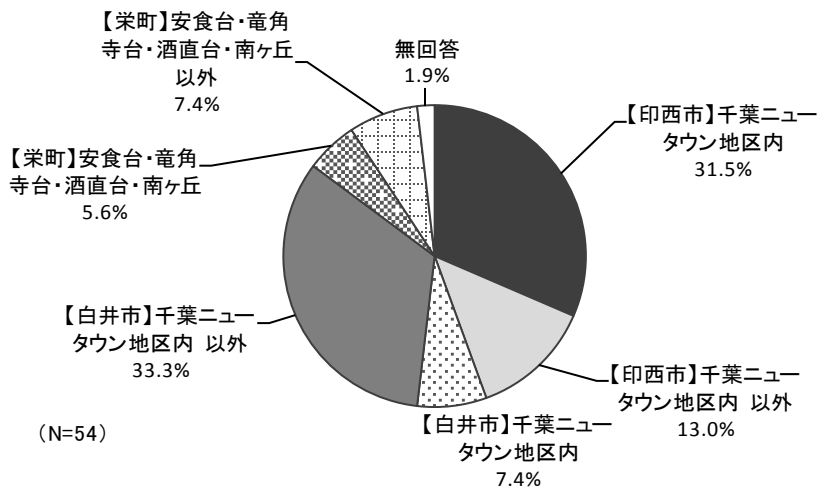


(10) 立地場所

【質問内容】

問 10 貴事業所の立地場所をお答えください（○は1つ）

「立地場所」について、白井市の「千葉ニュータウン地区内以外」が33.3%と最も多く、次いで印西市の「千葉ニュータウン地区内」が31.5%、印西市の「千葉ニュータウン地区内以外」が13.0%などとなっています。



(11) 自由記述

【質問内容】

問 11 印西地区のごみ処理やリサイクル行政にご意見、ご提案等があればご記入ください。

自由記述は3件あり、下記に記します。

温水プールの設備コストに費用がかかる。単体での設備コストで検討

季節により、特に多く出る剪定した枝葉や落葉等を堆肥にして安く販売して欲しいです。

法人と行政の連携が必要